



▲楽しい給食の時間

答 (教育長) 法で制定されているので保護者等の理解を

問 子ども手当から直接納付できるといふ特別措置法が10月1日より施行されるがこの法律をどのように活用するのか。

答 (教育部長) 年度によって違うが改善している。また3カ年の滞納額は合計で1,064万円になる。

問 随意契約はどのような事業の時なのか。またその利点や必要性は。

答 (市長) 事業の能率的、効率的な運営が認められる場合や一般競争入札によることが不利な場合に行う。また特殊な技術等を有し特定のものでなければ契約目的が達成できない場合、また災害時の応急工事等緊急に対応するためには必要である。

随意契約は適切に行われているのか

いただいて納付をお願いしていく。



北島 文孝

教育長

校長始め教職員等が主に徴収に当たっている

給食費の滞納者に対する取り組みは

答 (市長) 市民の皆様はの生活に大変直結しているため水道料金の格差について、企業組織のあり方の問題、市として補助の問題、補助をしていく中での公平性、平等性の問題を十分検討して、格差の縮減について努力をしていきたい。

問 小城市水道(小城市・三日月町の一部)と西佐賀水道(三日月町・牛津町・芦刈町)の料金では西佐賀の方が高い、合併後の重要課題である市民生活に影響を与える水道料金の格差をなくすべきではないか。



岸川 英樹

市長

色んな観点から調整する必要があると考える

水道料金の格差をなくせ



▲毎日使う水道

問 小城市水道より西佐賀水道が高い。佐賀市のように基本料金の2分の1を補助できないのか。

答 (市長) 半額を補助していくと年間約1千万円の補助となり、市民に理解をしてもらえるのか、どういう形が一番

いいのか考えなくてはならない。

答 (市長) 対策等も課題について協議をやっていきたい。

問 加入金の格差解消についてはどうする。



合瀬 健一

小城市民病院の将来は

市長 審議することが必要な時期に
来ている

問 市民病院改革プランでは平成22年度は500万円の赤字計画であったが、実際は9,500万円の赤字である。その理由は。

0万円の赤字だと思う。

問 私の試算では1億5,000万円位の赤字だと思っている。このままの病院の体制で黒字化はできるのか。

答 (市長) 権限はしっかりと病院が持つと必要と思うし、どういった方向に病院が特化していくのか審議も必要である。

答 (市長) 外科の医師、産婦人科の医師の確保ができなかったのが大きな要因である。また、医業収入に対し職員給与費も大変高くなっていることも一つの要因である。

問 23年度の予測は5,300万円の赤字の予定だが実際はどうか。

答 (市民病院事務部長) 何とか赤字額を減らしていきたいが3,000

問 市長は市民病院を将来どうするつもりか。



▲小城市民病院の将来は



諸泉 定次

小城市の幼児教育はどうなる

教育長 国の制度転換で、今の民営化はリスクが高い

問 小城市の幼児教育のあり方で、①市長・教育長とも以前「すべて民営化がいいのか検討したい」との答弁の真意は。②認定こども園への対応は③芦刈・三日月・晴田幼稚園での送迎バス、預かり保育のあるなしの行政の不等の是正は④公営・民間のサービス向上に向けた幼児教育現場の確保と民営化と直営のすみ分けは。

ムの移行等見ながら市の審議会の答申で整理したい。③サービスの不公平は大きな課題であり、審議会でも明らかにされていくと思う。④国の新システムを見ながら、民間にゆだねるところは民営化し、公立の施設を維持すべきとの見方もあり、市の幼児教育審議会を経て、小城市の取るべき方向性を探っていく。

答 (教育長) ①民営化計画からわずか3年で、国の保育・幼児教育制度が大きく転換し、このままではリスクが高く市の幼児教育審議会を検討頂く。②国の新システ

また指摘された正規と非正規職員の割合は、幼稚園で全部で54人の内、正規は13名で残りは嘱託・日々雇用

その他の質問

○太陽光発電の補助金制度について
○小城市園夏祭りへの支援について



▲民営化が予定されている小城市民幼稚園



岸川 弘文

市民栄誉賞の
創設は

市長

その尺度を決める議論からす
る

問 市制誕生を機にスポーツ、芸術、文化等に市民に夢や感動と希望を与え、輝かしい功績を上げた者に対し、その栄誉をたたえる市民栄誉賞を創設する考えはないのか。

答 (市長) これまでスポーツ活動に関して体育功労者表彰、市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市政発展に功労のあった者、及び市民の模範になる善行を表彰する小城市表彰規則を運用している。市民栄誉賞となると価値観のある映えあるものにするには、その尺度を決める議論からする。

問 小城市総合計画「和」で織りなす美しいまちの実現のため、市長の公約、マニフェストの内容を含め、土地利用計画にいつまで、またどのようにして反映されるのか。

答 (市長) 土地利用計画は、後期計画終了する27年度までに、マニフェストで公約した定住促進問題(砥川、三里地区)、市



▲全国を制覇した女子剣道(右より3人)

管住宅問題(牛津地区)また新たな諸問題、地域の要望を含めて策定する。



松尾 義幸

空き家、
廃屋対策を急げ

市長

解体後の跡地対策は、研究したい

問 長年放置されている建物は、都市景観を損ね、防災、防犯面からも社会問題化している。①旧町ごとの空き家の件数は。②空き家、廃屋の解体や土地の譲り受け対策をどう講じるか。③跡地対策を自治会の意見を聞いて対応は。

答 (市長) ①平成23年4月現在、小城市144戸、三日月町78戸、牛津町85戸、芦刈町58戸、合計で365戸の空き家がある。②解体は、私有財産であり、所有権を侵すことから大変苦慮している。関係者が特定できるところは、現況写真等を添えて対応をお願いし

ている。③継続管理の意にも含め自治会への貸し出し等も検討できると思う。他市の事例等も参考にしながら研究していきたい。

問 空き家、廃屋対策相談室とか、相談窓口をつくったらどうか。

答 (市民部長) 合併した時点から、環境課の方で担当している。平成21年、26年、22年、8件の土地並び



▲放置されている国道沿いの廃屋



樋渡 邦美

集落単位の 市長と語る会の意義は

市長

多くの皆様の参加で実のある
語る会ができる

問 市長と語る会は以前は市内の学校区単位が今回は市内各集落単

位
8か所で開催されていたが今回5月末からすでに開催されているが市長自身の気概は。

答

(市長) 以前の8校区での開催は、夜のゆつくりする時間帯に各校区の中心地に相当距離がある部分もあり、誰もかれも参加できる状況じゃなく、当然参加者も

答

(市長) 意見交換会等では市政に関すること、地域のこと、いろいろと質問や要望が出ている。地域の問題であれば担当課のほうからその地区に向いて何うようにし、内容によっては自身現場に向いて直接話を聞くということもしている。

▲芦刈町での市長と語る会



問

今回の語る会では、市民の皆様から市政の問題について、意見、要望等を市長が直接聞く市長と語る会になっていくが、今まで開催

その他の質問

○市の公用車の維持管理状況について



下村 仁司

牛津川流域の未来と 環境保全対策は

市長

ゴミを捨てない運動、活動を周知徹底する

問 小城市精霊流し実行委員会が流した精霊船は100%回収されているが、地域の伝統行事である菰こもに包まれた普段の精霊流しは牛津川上流

に大量に漂っていたが、その対応は。

答

(市長) 昔からの伝統で多久市の一部の集落でそのような事象が確認された。

問

牛津川堤防の舗装工事の優先順位は

来年以降は牛津川を管理する建設省武雄工事事務所の許可を得て流すよう多久市と建設省に申し出をしている。

また、再開された芦刈の精霊流しの情報をPRし、そこで流してもうらうこと

答

(市長) 堤防一本松(住之江間は市道であり、舗装の予算確保が厳しく当面小城市で路面補修をしっかりとやっていく。

▲船上からの精霊流し





▲多久市ごみ処理センター

問 一般廃棄物中継センターの件で関係地区の説明会において、平成31年を目標に佐賀県の策定した、小城市・佐賀市・多久市の三市によるごみ処理広域化計画があると
言われてきた。小城市として
はつきりとした基本的な構想がない中で言われたのか。その計画の実現のためにどのよう
に小城市が動いているのか。基本的な構想をもっているのか。

答 (市長)ごみ処理広域化計画は県の計画では中部広域化計画と位置づけられている。佐賀市のほうでは、ごみ処理施設の効率的な運営と、ごみ分別収集方法の統一による利便性向上で施設の統合が当面の課題とのこと。小城市、多久市では、広域化ごみ処理については協議会をつくっており、今現在、多久市と協議している。多久市、佐賀市においても現在のごみ処理施設は当然、更新があるので、更新時期を十分考慮しながら、早い時期に広域化計画に向けて話し合いのテーブルに着きたい。

その他の質問

○小城市の農業政策について



深川 高志

市長 将来は広域化を図っていかなければと考える

広域ごみ処理計画はどうなってる

問 ①佐賀県放課後児童クラブガイドラインへの市の対応は。②指導員体制の充実と安定を図ることがクラブの充実につながるのでは。

答 (市長)①(株)まちづくり小城市では千葉、鍋島のチームで協議検討中。市民交流プラザについては計画策定に合わせて関係団体と役割について今後検討する。②スピード感を持って事業を絞り込みながら取り組



江島佐知子

教育長 4月1日からの受入や協議の場を充実したい

放課後児童クラブの充実に向けて

中心市街地活性化は的を絞って事業の推進を

問 ①事業の進み具合は。②26年度までの期限の中で的を絞って取り組むべきでは。③スタッフ体制は十分か。○障害者福祉について

その他の質問



▲9月23日 学童フェスタin小城



上瀧 政登

災害に対する備えは十分か

市長 国・県と一体となって整備する

問 今年東北の大震災・津波・原子力発電所・大型台風と大災害が続いている。小城市の備えは十分か。堤防の高さ、玄海原発での事故、

雲仙の活断層など避難の対策は万全か。

答 (市長) 重要河川の堤防高さは十分に対応できていない部分もある。津波対策は有明海沿岸が7・5mで標準的な堤防高さとなつている。仮に玄海原発が福島第一原発と同じ位の事故が発生したら小城市はどこに避難するのかということは現在、県と協議中である。



▲流れを阻害する中央部の橋脚

子どもの健康管理は

問 園医・校医による健康診断が毎年行われているがその後十分に治療がなされているか。早寝・早起き・朝ごはん運動の成果は。

答 (教育長) 学校保健法にのっとり健康診断を行っている。治療が必要な場合は学校長より文書にて保護者に通知しているが完全に治療が終えている状態ではない。諸々の機会を利用して治療を促進させるよう指導していく必要がある。早寝・早起き・朝ごはん運動はよい結果が出ている。



西 正博

大寺橋東付近の県道の拡幅については

市長 来年、県が拡幅に着手

問 県道川上ノ牛津線の大寺橋東付近の拡幅工事が急がれるが。

答 (市長) 用地の取得契約が完了し、県は来年に拡幅に着手する。

福祉行政について

問 高齢者福祉サービスについて。

- ① 敬老祝い金について。
- ② 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成について。
- ③ 市の健診への聴力診断の導入はできないか。

答 (市長) ①支給内容の見直しについては、理解を頂きたい。告知が

不十分な点は反省をする。

- ② 周知の徹底を図り、多くの方々に接種して頂きたい。有効期間5年後の再接種も同程度の補助を考えていきたい。
- ③ 導入については今後の

検討課題と考えている。

教育行政について

問 学校・公共施設の熱中症への対策は。ミストシャワーの導入を。

答 (教育長) 予防措置を関係者と全力で取り組んでいる。

その他の質問

- 買い物支援について
- 市民病院の産科復活については



▲ミストシャワーで涼を楽しむ三日月幼稚園児 (左上は吹出口)



富永 正樹

「観光都市小城市」の戦略は

市長 多様な観光資源を素材として活用していく

問 肥前アルプスの異名をもつ秀峰天山を中心として、それを取り巻く里山である、彦岳・牛頭山・牛尾山・鏡山・峰山などの山々と旧晴田小川内分校、八丁ダム周辺を合わせた夏のキャンプや観光登山を、グリーンツーリズム等と併せ観光商品として磨きあげては、

問 「山の辺の道」と「星巖寺」を生かし、放置されたままの可能性を秘めた運動公園予定地であった跡地で、氏名入りの記念の桜の植樹と、来訪者にノミをふるって羅漢を彫り奉納してもらい、リピート現象で交流人口を増やすため、年間開放型の「桜に囲まれた羅漢の里」づくりにより肌脱いでみては、

答 (市長) 地域づくり、まちづくりに力を出して戴いている各団体の思いや行動には、行政もしっかりと後押しをしていく。

答 (市長) 天山を源として広がる景観、歴史、文化を知り感じていただくため、体験型観光商品が可能か、どこをターゲットに何を売るのかマーケティング調査をし売り込み先はどこに、どういう形でやるのか、しっかりと立ててやって



▲観光客を待つ星巖寺の羅漢さん



光岡 実

スマートインターの見通しは

市長 受付再開を待つのみ

問 スマートインターチェンジ整備事業における、市長の思いと、建設への見通しは。

答 (市長) 選挙の際の公約でもある。何となく進めていくべき重要事業であると考えている。現在、東日本震災等により、一時的に実施計画書の提出が保留されている状況であるが、いつ提出の指示があってもいいように準備は完了している。

士線の道路整備を県に要望している。県からは、インター開設までには、整備をするということで、回答を得ている。整備に当たっては今の県道を拡幅するのか、バイパスにするのか、今現在、県にて検討中である。



▲スマートインターチェンジ予定地 (原田地区)

歩道整備について

問 市道山彦、北浦線の歩道の延長計画は。

答 (建設部長) 未設置の現地は、多大の事業費が必要、また、市の財政等を考えれば、非常に厳しい状況である。

答 (建設部長) 県道小城市富



樋渡 利光

セットバック部分は市の管理ではないか

市長 厳しい状況の中、道路管理等を行っている

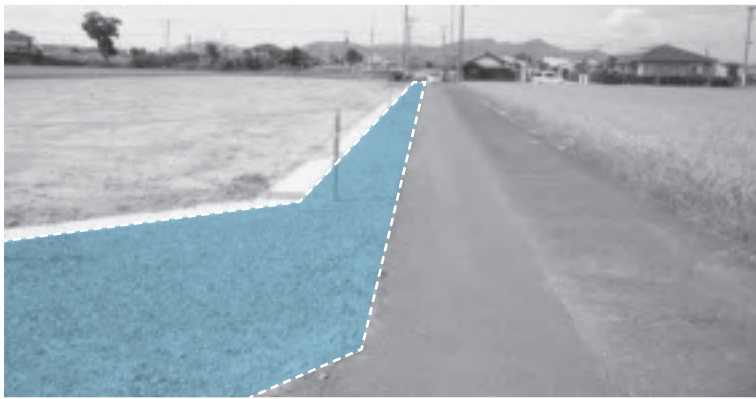
問 住宅建設に伴うセットバックについて、小城市における①セットバックの定義は何にどう記されているのか②建築基準法42条第2項に準じているか③セットバック部分に条例で使用制限を設けているのか④道路の中心の割り出しは誰がするのか、また正しくなされたのか確認は⑤建築確認時に接続する道路幅員4mを確保するためセットバックするのか⑥建築基準法以上セットバックした場合、その土地は公・私有地いずれか。

セットバックで記載されている。②建築基準法に準じている。③条例はない。④県の建築主事の判断で建築完了時に検査を行う。⑤道路幅員4mを確保するため、狭い道ではセットバックが2mになったり、1・5mだったり、り…という所が発生します。⑥私有地である。

その他の質問
○自治会Q&Aについて

答 (都市整備推進室長) ①建物を建てる場合の基準法第42条第2項に

答 (市長) セットバック部分については市の関与は、現在非常に厳しい。



▲セットバックされた部分



香月チエミ

子育て支援は子供に最良の環境を

教育長 子どもの心の居場所となる環境の整備をめざす

問 市定員適正化計画による定年等の退職者不補充等により、臨時職員の割合が大変増え、それが子どもたちにも影響しているかと危惧している。①職員が集中して保育ができる配置、構成か。②真の資質向上をめざした職員研修が、保育園で実施されていないのでは。③保護者との連携は。④今後の方向性は。預けられる子どもにとって最良の環境を整えるという視点で論議してほしい。

年度は正規の採用も予定している。②21年度までは保育士対象の研修会はしていない。22年度から幼保ネットワーク会議を立ち上げて実施している。

答 (教育長) 諸課題が連絡会への運営委託は考えないか。

答 (教育長) ①職員構成比率のアンバランスは改善を図る。園長を中心に活性化していくよう自助努力は大切で、来

今後の学童クラブ運営は

問 管理運営のノウハウがある放課後児童クラブ



▲三日月幼稚園の運動会